

# 平成 27 年度 病院事業決算状況

都道府県名 広島県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	県立広島病院	2	世羅中央病院企業団	公立世羅中央病院	20
-	県立安芸津病院	3			
広島市	広島市民病院	4			
広島市	安佐市民病院	5			
広島市	舟入市民病院	6			
広島市	安芸市民病院	7			
広島市	リハビリテーション病院	8			
呉市	公立下蒲刈病院	9			
尾道市	尾道市立市民病院	10			
尾道市	尾道市公立みつぎ総合病院	11			
福山市	福山市民病院	12			
府中市	府中市立湯が丘病院	13			
府中市	想定企業会計	14			
三次市	市立三次中央病院	15			
庄原市	庄原市立西城市民病院	16			
安芸太田町	安芸太田病院	17			
北広島町	北広島町豊平病院	18			
神石高原町	神石高原町立病院	19			

<b>病院事業決算状況</b> (27年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	
	病院名	県立広島病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	68,179 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨がへ災地輪
診療科数	33	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	650	85.8	85.7	88.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	68.9	69.4	72.3
感染症	-	-	-	-
計	700	84.6	84.5	87.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	11.8	12.0

設立団体の状況		
人口(人)	2,843,990	
決算規模(千円)	930,253,256	
標準財政規模(千円)	608,404,644	
財政力指数	0.58581	
経常収支比率(%)	94.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.9
	将来負担比率(%)	226.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	22,522,821			
1 経常収益	22,519,075			
(1) 医業収益	20,617,971			
入院収益	14,561,692			
外来収益	5,513,734			
診療収入計	20,075,426			
その他医業収益	542,545			
(うち他会計負担金)	262,549			
(2) 医業外収益	1,901,104			
(うち国・都道府県補助金)	25,563			
(うち他会計補助・負担金)	1,252,569			
(うち長期前受金戻入)	472,699			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,746			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	23,335,965			
2 経常費用	22,423,807			
(1) 医業費用	21,094,651			
職員給与費	11,626,000	56.4	54.5	49.7
材料費	5,721,213	27.7	24.1	27.4
(うち薬品費)	2,862,007	13.9	12.6	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,851,415	13.8	11.0	12.6
減価償却費	1,070,288	5.2	9.0	8.6
経費	2,536,470	12.3	23.3	20.4
(うち委託料)	1,623,675	7.9	10.8	11.0
研究研修費	120,907			
資産減耗費	19,773			
(2) 医業外費用	1,329,156			
(うち支払利息)	502,481	2.4	1.9	1.7
(3) 特別損失	912,158			
損益				
経常損益	95,268			
純損益	-813,144			
累積欠損金	21,717,129			
経常収支比率	100.4		98.7	100.0
医業収支比率	97.7		89.5	93.7
他会計繰入金対経常収益比率	6.7		12.0	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	7.3		14.0	10.3
他会計繰入金対総収益比率	6.7		12.3	9.1
実質収益対経常費用比率	93.7		86.8	90.9

備考:  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	26,565,894
1 固定資産	18,456,624
(1) 有形固定資産	18,089,056
(2) 無形固定資産	30,913
(3) 投資その他の資産	336,655
2 流動資産	8,109,270
(1) 現金及び預金	3,534,452
(2) 未収金及び未収収益	4,333,864
(3) 貸倒引当金( )	37,067
(4) 貯蔵品	211,978
3 繰延資産	-
負債合計	26,515,290
1 固定負債	19,387,649
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,489,281
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	827,690
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,070,678
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,443,910
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,009,019
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	202,832
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	451,818
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,600,374
(9) 前受金及び前受収益	2,811
3 繰延収益	683,731
(1) 長期前受金	1,746,439
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,062,708
資本合計	50,604
1 資本金	28,961,548
2 剰余金	-28,910,944
(1) 資本金剰余金	509,757
(2) 利益剰余金	-29,420,701
負債・資本合計	26,565,894
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.5
修正医業収支金額(千円)	20,355,422

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,253,883	1,515,118
資本勘定繰入	620,392	764,725
計	1,874,275	2,279,843

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	132.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (27年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	
	病院名	県立安芸津病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド I 訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	11,654 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪
診療科数	10	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	125	82.2	82.8	83.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	125	82.2	82.8	83.7
平均在院日数(一般病床のみ)		26.6	23.3	19.9

設立団体の状況		
人口(人)	2,843,990	
決算規模(千円)	930,253,256	
標準財政規模(千円)	608,404,644	
財政力指数	0.58581	
経常収支比率(%)	94.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.9
	将来負担比率(%)	226.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.4
修正医業収支金額(千円)	1,536,477

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,933,345			
1 経常収益	1,933,221			
(1) 医業収益	1,606,992			
入院収益	966,360			
外来収益	517,514			
診療収入計	1,483,874			
その他医業収益	123,118			
(うち他会計負担金)	70,515			
(2) 医業外収益	326,229			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	251,893			
(うち長期前受金戻入)	63,129			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	124			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,067,282			
2 経常費用	1,996,729			
(1) 医業費用	1,934,538			
職員給与費	1,186,307	73.8	54.5	58.9
材料費	287,116	17.9	24.1	18.0
(うち薬品費)	123,916	7.7	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	162,421	10.1	11.0	7.4
減価償却費	116,841	7.3	9.0	9.6
経費	335,446	20.9	23.3	30.8
(うち委託料)	206,114	12.8	10.8	12.1
研究研修費	6,972			
資産減耗費	1,856			
(2) 医業外費用	62,191			
(うち支払利息)	3,528	0.2	1.9	2.0
(3) 特別損失	70,553			
損益				
経常損益	-63,508			
純損益	-133,937			
累積欠損金	7,703,572			
経常収支比率	96.8		98.7	98.1
医業収支比率	83.1		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	16.7		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	20.1		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	16.7		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	80.7		86.8	83.3

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	26,565,894
1 固定資産	18,456,624
(1) 有形固定資産	18,089,056
(2) 無形固定資産	30,913
(3) 投資その他の資産	336,655
2 流動資産	8,109,270
(1) 現金及び預金	3,534,452
(2) 未収金及び未収収益	4,333,864
(3) 貸倒引当金( )	37,067
(4) 貯蔵品	211,978
3 繰延資産	-
負債合計	26,515,290
1 固定負債	19,387,649
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,489,281
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	827,690
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,070,678
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,443,910
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,009,019
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	202,832
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	451,818
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,600,374
(9) 前受金及び前受収益	2,811
3 繰延収益	683,731
(1) 長期前受金	1,746,439
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,062,708
資本合計	50,604
1 資本金	28,961,548
2 剰余金	-28,910,944
(1) 資本剰余金	509,757
(2) 利益剰余金	-29,420,701
負債・資本合計	26,565,894
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	315,984	322,408
資本勘定繰入	117,139	117,139
計	433,123	439,547

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	132.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)		都道府県名	広島県
		市町村・組合名	広島市
		病院名	広島市民病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	94.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	90.7
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	94.1
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	11.7

設立団体の状況		
人口(人)	1,194,034	
決算規模(千円)	570,673,631	
標準財政規模(千円)	280,533,985	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	97.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.0
	将来負担比率(%)	223.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	463,722			
1 経常収益	463,722			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	463,722			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	463,722			
2 経常費用	463,722			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	49.7
材料費	-	-	24.1	27.4
(うち薬品費)	-	-	12.6	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.6
減価償却費	-	-	9.0	8.6
経費	-	-	23.3	20.4
(うち委託料)	-	-	10.8	11.0
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	463,722			
(うち支払利息)	463,722	-	1.9	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.7	100.0
医業収支比率	-		89.5	93.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	10.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	9.1
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	90.9

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	29.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 27 年度 )</b>		都道府県名	広島県
		市町村・組合名	広島市
		病院名	安佐市民病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	84.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	84.8
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	11.9

設立団体の状況		
人口（人）	1,194,034	
決算規模（千円）	570,673,631	
標準財政規模（千円）	280,533,985	
財政力指数	0.83	
経常収支比率（%）	97.4	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	15.0
	将来負担比率（%）	223.9

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,237			
1 経常収益	21,237			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	21,237			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	21,237			
2 経常費用	21,237			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	49.7
材料費	-	-	24.1	27.4
(うち薬品費)	-	-	12.6	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.6
減価償却費	-	-	9.0	8.6
経費	-	-	23.3	20.4
(うち委託料)	-	-	10.8	11.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	21,237			
(うち支払利息)	21,237	-	1.9	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.7	100.0
医業収支比率	-		89.5	93.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	10.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	9.1
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	90.9

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	29.7
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> ( 27 年度 )	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	広島市
	病院名	舟入市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	27 年度	26 年度	25 年度
一般	-	-	-	70.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	52.0
平均在院日数 ( 一般病床のみ )		-	-	10.1

設立団体の状況		
人口 (人)	1,194,034	
決算規模 (千円)	570,673,631	
標準財政規模 (千円)	280,533,985	
財政力指数	0.83	
経常収支比率 (%)	97.4	
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	15.0
	将来負担比率 (%)	223.9

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	109,256			
1 経常収益	109,256			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	109,256			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	109,256			
2 経常費用	109,256			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	58.9
材料費	-	-	24.1	18.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	7.4
減価償却費	-	-	9.0	9.6
経費	-	-	23.3	30.8
(うち委託料)	-	-	10.8	12.1
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	109,256			
(うち支払利息)	109,256	-	1.9	2.0
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.7	98.1
医業収支比率	-		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	83.3

備考：  
 「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 ( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債 ( 特例債含む )	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 ( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 ( )	-
資本不足額 (繰延収益控除後) ( )	-
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
27 年度	-	-
26 年度	-	-
25 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	29.7
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (27年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	広島市
	病院名	安芸市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	7,901 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪
診療科数	6	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	80	90.7	90.3	90.5
療養	60	93.8	97.2	97.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	92.0	93.2	93.6
平均在院日数(一般病床のみ)		19.7	19.1	19.8

設立団体の状況		
人口(人)	1,194,034	
決算規模(千円)	570,673,631	
標準財政規模(千円)	280,533,985	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	97.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.0
	将来負担比率(%)	223.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,105,410			
1 経常収益	2,101,141			
(1) 医業収益	1,864,398			
入院収益	1,346,439			
外来収益	433,284			
診療収入計	1,779,723			
その他医業収益	84,675			
(うち他会計負担金)	11,968			
(2) 医業外収益	236,743			
(うち国・都道府県補助金)	3,119			
(うち他会計補助・負担金)	92,067			
(うち長期前受金戻入)	71,142			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,269			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,103,331			
2 経常費用	2,101,695			
(1) 医業費用	2,070,018			
職員給与費	10,593	0.6	54.5	58.9
材料費	-	-	24.1	18.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	7.4
減価償却費	112,053	6.0	9.0	9.6
経費	1,946,828	104.4	23.3	30.8
(うち委託料)	92,037	4.9	10.8	12.1
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	544	-	-	-
(2) 医業外費用	31,677			
(うち支払利息)	31,677	1.7	1.9	2.0
(3) 特別損失	1,636			
損益				
経常損益	-554			
純損益	2,079			
累積欠損金	554,362			
経常収支比率	100.0		98.7	98.1
医業収支比率	90.1		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	5.0		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	5.6		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	4.9		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	95.0		86.8	83.3

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,040,030
1 固定資産	2,638,739
(1) 有形固定資産	2,637,939
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	800
2 流動資産	401,291
(1) 現金及び預金	32,971
(2) 未収金及び未収収益	380,603
(3) 貸倒引当金( )	12,727
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,375,750
1 固定負債	1,700,131
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,658,222
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	41,909
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	480,124
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	145,506
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	507
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	110,000
(8) 未払金及び未払費用	221,589
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	195,495
(1) 長期前受金	528,238
(2) 長期前受金収益化累計額( )	332,743
資本合計	664,280
1 資本金	493,740
2 剰余金	170,540
(1) 資本金剰余金	724,902
(2) 利益剰余金	-554,362
負債・資本合計	3,040,030
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.5
修正医業収支金額(千円)	1,852,430

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	90,978	104,035
資本勘定繰入	73,258	93,104
計	164,236	197,139

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	29.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)		都道府県名	広島県
		市町村・組合名	広島市
		病院名	リハビリテーション病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	94.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	94.1
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	76.0

設立団体の状況		
人口(人)	1,194,034	
決算規模(千円)	570,673,631	
標準財政規模(千円)	280,533,985	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	97.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.0
	将来負担比率(%)	223.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	128,965			
1 経常収益	128,965			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	128,965			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	128,965			
2 経常費用	128,965			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	58.9
材料費	-	-	24.1	18.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	7.4
減価償却費	-	-	9.0	9.6
経費	-	-	23.3	30.8
(うち委託料)	-	-	10.8	12.1
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	128,965			
(うち支払利息)	128,965	-	1.9	2.0
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.7	98.1
医業収支比率	-		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	83.3

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	29.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



<b>病院事業決算状況</b> <b>( 27 年度 )</b>				都道府県名	広島県
				市町村・組合名	呉市
				病院名	公立下蒲刈病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,909 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救		
診療科数	13	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	49	96.3	95.9	96.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	49	96.3	95.9	96.0
平均在院日数（一般病床のみ）		46.8	39.9	36.2

設立団体の状況		
人口（人）	228,552	
決算規模（千円）	108,006,800	
標準財政規模（千円）	58,015,665	
財政力指数	0.61	
経常収支比率（%）	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	11.7
	将来負担比率（%）	99.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	81.3
修正医業収支金額（千円）	570,699

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	721,780			
1 経常収益	721,748			
(1) 医業収益	620,910			
入院収益	348,354			
外来収益	204,976			
診療収入計	553,330			
その他医業収益	67,580			
(うち他会計負担金)	50,211			
(2) 医業外収益	100,838			
(うち国・都道府県補助金)	370			
(うち他会計補助・負担金)	81,637			
(うち長期前受金戻入)	11,425			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	32			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	721,748			
2 経常費用	721,748			
(1) 医業費用	701,899			
職員給与費	471,203	75.9	54.5	74.7
材料費	52,752	8.5	24.1	18.8
(うち薬品費)	36,943	5.9	12.6	11.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	15,640	2.5	11.0	6.4
減価償却費	48,621	7.8	9.0	12.5
経費	127,106	20.5	23.3	38.3
(うち委託料)	84,522	13.6	10.8	15.7
研究研修費	1,680			
資産減耗費	537			
(2) 医業外費用	19,849			
(うち支払利息)	5,893	0.9	1.9	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	32			
累積欠損金	164,907			
経常収支比率	100.0		98.7	96.6
医業収支比率	88.5		89.5	68.6
他会計繰入金対経常収益比率	18.3		12.0	30.8
他会計繰入金対医業収益比率	21.2		14.0	45.9
他会計繰入金対総収益比率	18.3		12.3	30.5
実質収益対経常費用比率	81.7		86.8	66.9

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	1,015,699
1 固定資産	737,678
(1) 有形固定資産	733,511
(2) 無形固定資産	171
(3) 投資その他の資産	3,996
2 流動資産	278,021
(1) 現金及び預金	190,174
(2) 未収金及び未収収益	82,846
(3) 貸倒引当金（ ）	739
(4) 貯蔵品	5,740
3 繰延資産	-
負債合計	571,879
1 固定負債	185,379
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	159,356
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	25,124
(7) リース債務	899
2 流動負債	152,979
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	64,753
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	25,443
(6) リース債務	892
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,178
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	233,521
(1) 長期前受金	404,763
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	171,242
資本合計	443,820
1 資本金	608,716
2 剰余金	-164,896
(1) 資本剰余金	11
(2) 利益剰余金	-164,907
負債・資本合計	1,015,699
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	119,628	131,848
資本勘定繰入	34,026	34,026
計	153,654	165,874

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	26.6
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 27 年度 )</b>				都道府県名	広島県
				市町村・組合名	尾道市
				病院名	尾道市立市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,438 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨地輪		
診療科数	24	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	330	67.9	71.6	75.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	330	67.9	71.6	75.6
平均在院日数（一般病床のみ）		14.0	14.0	15.0

設立団体の状況		
人口（人）	138,626	
決算規模（千円）	60,381,792	
標準財政規模（千円）	35,777,461	
財政力指数	0.59	
経常収支比率（%）	91.4	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.7
	将来負担比率（%）	38.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	92.5
修正医業収支金額（千円）	6,661,561

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,859,958			
1 経常収益	7,459,937			
(1) 医業収益	7,047,143			
入院収益	4,841,764			
外来収益	1,613,792			
診療収入計	6,455,556			
その他医業収益	591,587			
(うち他会計負担金)	385,582			
(2) 医業外収益	412,794			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	322,210			
(うち長期前受金戻入)	26,755			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	400,021			
(うち他会計繰入金)	400,000			
総費用	7,537,439			
2 経常費用	7,526,239			
(1) 医業費用	7,199,760			
職員給与費	4,071,708	57.8	54.5	55.3
材料費	1,464,602	20.8	24.1	24.2
(うち薬品費)	665,708	9.4	12.6	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	797,488	11.3	11.0	11.5
減価償却費	509,654	7.2	9.0	8.8
経費	1,112,994	15.8	23.3	21.7
(うち委託料)	664,599	9.4	10.8	10.3
研究研修費	31,654			
資産減耗費	9,148			
(2) 医業外費用	326,479			
(うち支払利息)	53,662	0.8	1.9	2.1
(3) 特別損失	11,200			
損益				
経常損益	-66,302			
純損益	322,519			
累積欠損金	736,229			
経常収支比率	99.1		98.7	97.6
医業収支比率	97.9		89.5	90.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.5		12.0	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	10.0		14.0	12.6
他会計繰入金対総収益比率	14.1		12.3	11.4
実質収益対経常費用比率	89.7		86.8	86.9

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	20,465,452
1 固定資産	13,917,191
(1) 有形固定資産	13,753,996
(2) 無形固定資産	1,970
(3) 投資その他の資産	161,225
2 流動資産	6,284,955
(1) 現金及び預金	4,167,655
(2) 未収金及び未収収益	2,066,283
(3) 貸倒引当金（ ）	2,195
(4) 貯蔵品	53,212
3 繰延資産	263,306
負債合計	12,208,995
1 固定負債	8,623,809
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,562,860
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,060,949
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,255,080
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	502,172
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	750,392
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	935,922
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,330,106
(1) 長期前受金	2,218,227
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	888,121
資本合計	8,256,457
1 資本金	8,399,181
2 剰余金	-142,724
(1) 資本金剰余金	212,465
(2) 利益剰余金	-355,189
負債・資本合計	20,465,452
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	739,328	1,107,792
資本勘定繰入	219,315	-
計	958,643	1,107,792

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	7.4
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (27年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	尾道市
	病院名	尾道市公立みつぎ総合病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	20,677 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	22	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	152	85.3	87.0	89.6
療養	88	87.1	89.5	90.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	240	86.0	87.8	89.7
平均在院日数(一般病床のみ)		19.0	19.3	19.8

設立団体の状況		
人口(人)	138,626	
決算規模(千円)	60,381,792	
標準財政規模(千円)	35,777,461	
財政力指数	0.59	
経常収支比率(%)	91.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	38.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.5
修正医業収支金額(千円)	4,728,759

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,297,644			
1 経常収益	6,297,644			
(1) 医業収益	4,972,214			
入院収益	2,500,601			
外来収益	1,197,441			
診療収入計	3,698,042			
その他医業収益	1,274,172			
(うち他会計負担金)	243,455			
(2) 医業外収益	1,325,430			
(うち国・都道府県補助金)	422			
(うち他会計補助・負担金)	358,282			
(うち長期前受金戻入)	55,473			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,290,017			
2 経常費用	6,288,694			
(1) 医業費用	5,169,200			
職員給与費	3,407,722	68.5	54.5	57.6
材料費	665,756	13.4	24.1	20.9
(うち薬品費)	350,926	7.1	12.6	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	295,485	5.9	11.0	9.8
減価償却費	277,484	5.6	9.0	9.3
経費	800,603	16.1	23.3	27.2
(うち委託料)	416,448	8.4	10.8	11.2
研究研修費	16,098			
資産減耗費	1,537			
(2) 医業外費用	1,119,494			
(うち支払利息)	28,787	0.6	1.9	2.1
(3) 特別損失	1,323			
損益				
経常損益	8,950			
純損益	7,627			
累積欠損金	156,960			
経常収支比率	100.1		98.7	96.6
医業収支比率	96.2		89.5	86.2
他会計繰入金対経常収益比率	9.6		12.0	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	12.1		14.0	15.7
他会計繰入金対総収益比率	9.6		12.3	13.9
実質収益対経常費用比率	90.6		86.8	83.9

備考:  
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	20,465,452
1 固定資産	13,917,191
(1) 有形固定資産	13,753,996
(2) 無形固定資産	1,970
(3) 投資その他の資産	161,225
2 流動資産	6,284,955
(1) 現金及び預金	4,167,655
(2) 未収金及び未収収益	2,066,283
(3) 貸倒引当金( )	2,195
(4) 貯蔵品	53,212
3 繰延資産	263,306
負債合計	12,208,995
1 固定負債	8,623,809
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,562,860
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,060,949
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,255,080
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	502,172
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	750,392
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	935,922
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,330,106
(1) 長期前受金	2,218,227
(2) 長期前受金収益化累計額( )	888,121
資本合計	8,256,457
1 資本金	8,399,181
2 剰余金	-142,724
(1) 資本金剰余金	212,465
(2) 利益剰余金	-355,189
負債・資本合計	20,465,452
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	454,328	601,737
資本勘定繰入	34,401	2,700
計	488,729	604,437

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	7.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (27年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	福山市
	病院名	福山市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	49,620 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感災地輪
診療科数	27	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	500	85.9	85.4	82.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	1.0	1.1	0.5
計	506	84.9	84.4	81.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.4	11.9	11.8

設立団体の状況		
人口(人)	464,811	
決算規模(千円)	166,433,001	
標準財政規模(千円)	99,857,792	
財政力指数	0.81	
経常収支比率(%)	87.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,176,273			
1 経常収益	18,176,273			
(1) 医業収益	16,980,635			
入院収益	11,323,272			
外来収益	4,960,633			
診療収入計	16,283,905			
その他医業収益	696,730			
(うち他会計負担金)	454,860			
(2) 医業外収益	1,195,638			
(うち国・都道府県補助金)	40,389			
(うち他会計補助・負担金)	397,643			
(うち長期前受金戻入)	581,438			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,756,523			
2 経常費用	17,756,523			
(1) 医業費用	16,842,218			
職員給与費	6,589,400	38.8	54.5	49.7
材料費	5,761,836	33.9	24.1	27.4
(うち薬品費)	2,745,257	16.2	12.6	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,932,577	17.3	11.0	12.6
減価償却費	1,658,507	9.8	9.0	8.6
経費	2,693,185	15.9	23.3	20.4
(うち委託料)	941,470	5.5	10.8	11.0
研究研修費	86,031			
資産減耗費	53,259			
(2) 医業外費用	914,305			
(うち支払利息)	229,895	1.4	1.9	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	419,750			
純損益	419,750			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.4		98.7	100.0
医業収支比率	100.8		89.5	93.7
他会計繰入金対経常収益比率	4.7		12.0	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	5.0		14.0	10.3
他会計繰入金対総収益比率	4.7		12.3	9.1
実質収益対経常費用比率	97.6		86.8	90.9

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	27,683,046
1 固定資産	15,522,319
(1) 有形固定資産	15,340,915
(2) 無形固定資産	5,275
(3) 投資その他の資産	176,129
2 流動資産	12,160,727
(1) 現金及び預金	9,374,973
(2) 未収金及び未収収益	2,767,143
(3) 貸倒引当金( )	54,317
(4) 貯蔵品	26,754
3 繰延資産	-
負債合計	19,409,895
1 固定負債	15,423,163
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,193,421
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,229,742
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,392,391
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	728,412
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	286,633
(6) リース債務	26,711
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,282,517
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,594,341
(1) 長期前受金	10,910,245
(2) 長期前受金収益化累計額( )	9,315,904
資本合計	8,273,151
1 資本金	2,263,535
2 剰余金	6,009,616
(1) 資本剰余金	717,050
(2) 利益剰余金	5,292,566
負債・資本合計	27,683,046
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	98.1
修正医業収支金額(千円)	16,525,775

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	852,503	852,503
資本勘定繰入	473,112	473,112
計	1,325,615	1,325,615

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (27年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	府中市
	病院名	府中市立湯が丘病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	8,765 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	臨
診療科数	1	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	308	75.0	76.4	79.8
感染症	-	-	-	-
計	308	75.0	76.4	79.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	40,069	
決算規模(千円)	22,379,760	
標準財政規模(千円)	11,986,446	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	91.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	91.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,303,066			
1 経常収益	1,303,066			
(1) 医業収益	1,204,900			
入院収益	1,135,170			
外来収益	52,269			
診療収入計	1,187,439			
その他医業収益	17,461			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	98,166			
(うち国・都道府県補助金)	203			
(うち他会計補助・負担金)	77,254			
(うち長期前受金戻入)	8,434			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,266,237			
2 経常費用	1,266,237			
(1) 医業費用	1,212,459			
職員給与費	896,315	74.4	54.5	92.3
材料費	71,395	5.9	24.1	9.4
(うち薬品費)	60,565	5.0	12.6	6.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	10,830	0.9	11.0	1.1
減価償却費	58,565	4.9	9.0	12.2
経費	184,180	15.3	23.3	32.5
(うち委託料)	121,284	10.1	10.8	15.4
研究研修費	1,890			
資産減耗費	114			
(2) 医業外費用	53,778			
(うち支払利息)	22,491	1.9	1.9	3.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	36,829			
純損益	36,829			
累積欠損金	257,734			
経常収支比率	102.9		98.7	99.9
医業収支比率	99.4		89.5	68.0
他会計繰入金対経常収益比率	5.9		12.0	32.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.4		14.0	50.1
他会計繰入金対総収益比率	5.9		12.3	32.2
実質収益対経常費用比率	96.8		86.8	67.4

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,088,941
1 固定資産	968,621
(1) 有形固定資産	960,396
(2) 無形固定資産	4,654
(3) 投資その他の資産	3,571
2 流動資産	2,120,320
(1) 現金及び預金	1,920,144
(2) 未収金及び未収収益	203,942
(3) 貸倒引当金( )	5,227
(4) 貯蔵品	1,354
3 繰延資産	-
負債合計	2,689,778
1 固定負債	2,359,923
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,739,556
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	620,367
(7) リース債務	-
2 流動負債	187,335
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	70,087
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	50,618
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	63,742
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	142,520
(1) 長期前受金	337,486
(2) 長期前受金収益化累計額( )	194,966
資本合計	399,163
1 資本金	1,601,145
2 剰余金	-1,201,982
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,201,982
負債・資本合計	3,088,941
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	99.4
修正医業収支金額(千円)	1,204,900

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	376,408	77,254
資本勘定繰入	43,480	44,282
計	419,888	121,536

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	134.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (27年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	府中市
	病院名	想定企業会計

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	40,069	
決算規模(千円)	22,379,760	
標準財政規模(千円)	11,986,446	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	91.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	91.2

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	28,506			
1 経常収益	28,506			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	28,506			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	28,506			
2 経常費用	28,506			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	66.5
材料費	-	-	24.1	18.1
(うち薬品費)	-	-	12.6	11.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	5.6
減価償却費	-	-	9.0	11.3
経費	-	-	23.3	30.5
(うち委託料)	-	-	10.8	11.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	28,506			
(うち支払利息)	28,506	-	1.9	2.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	1,368,242			
経常収支比率	100.0		98.7	97.7
医業収支比率	-		89.5	78.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	21.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	28.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	22.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	76.6

備考：  
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	134.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (27年度)				都道府県名	広島県
				市町村・組合名	三次市
				病院名	市立三次中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	22,851 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨がへ災地輪		
診療科数	21	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	350	86.2	83.6	87.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	350	86.2	83.6	87.7
平均在院日数(一般病床のみ)		13.9	14.7	15.1

設立団体の状況		
人口(人)	53,615	
決算規模(千円)	38,316,518	
標準財政規模(千円)	24,559,397	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	90.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	49.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,188,109			
1 経常収益	9,142,427			
(1) 医業収益	8,556,551			
入院収益	5,292,676			
外来収益	2,876,905			
診療収入計	8,169,581			
その他医業収益	386,970			
(うち他会計負担金)	63,212			
(2) 医業外収益	585,876			
(うち国・都道府県補助金)	72,396			
(うち他会計補助・負担金)	183,176			
(うち長期前受金戻入)	248,150			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	45,682			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,663,995			
2 経常費用	8,583,976			
(1) 医業費用	8,098,942			
職員給与費	3,928,174	45.9	54.5	55.3
材料費	2,413,372	28.2	24.1	24.2
(うち薬品費)	1,514,751	17.7	12.6	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	818,775	9.6	11.0	11.5
減価償却費	500,289	5.8	9.0	8.8
経費	1,154,534	13.5	23.3	21.7
(うち委託料)	738,414	8.6	10.8	10.3
研究研修費	46,616			
資産減耗費	55,957			
(2) 医業外費用	485,034			
(うち支払利息)	139,197	1.6	1.9	2.1
(3) 特別損失	80,019			
損益				
経常損益	558,451			
純損益	524,114			
累積欠損金	-			
経常収支比率	106.5		98.7	97.6
医業収支比率	105.7		89.5	90.4
他会計繰入金対経常収益比率	2.7		12.0	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	2.9		14.0	12.6
他会計繰入金対総収益比率	2.7		12.3	11.4
実質収益対経常費用比率	103.6		86.8	86.9

備考:  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,890,577
1 固定資産	10,094,454
(1) 有形固定資産	7,283,741
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	2,810,713
2 流動資産	5,796,123
(1) 現金及び預金	3,749,975
(2) 未収金及び未収収益	2,023,964
(3) 貸倒引当金( )	7,893
(4) 貯蔵品	28,651
3 繰延資産	-
負債合計	9,424,262
1 固定負債	5,607,818
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,041,272
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,551,577
(7) リース債務	14,969
2 流動負債	1,697,213
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	530,934
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	209,661
(6) リース債務	6,822
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	932,719
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,119,231
(1) 長期前受金	3,636,267
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,517,036
資本合計	6,466,315
1 資本金	4,784,176
2 剰余金	1,682,139
(1) 資本剰余金	130,337
(2) 利益剰余金	1,551,802
負債・資本合計	15,890,577
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	104.9
修正医業収支金額(千円)	8,493,339

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	312,001	246,388
資本勘定繰入	577,017	370,800
計	889,018	617,188

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (27年度)				都道府県名	広島県
				市町村・組合名	庄原市
				病院名	庄原市立西城市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,099 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨へ輪		
診療科数	9	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	54	83.5	80.1	81.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	54	83.5	80.1	81.7
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	21.7	25.9

設立団体の状況		
人口(人)	37,000	
決算規模(千円)	31,136,997	
標準財政規模(千円)	19,606,027	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	95.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.8
	将来負担比率(%)	123.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	72.6
修正医業収支金額(千円)	891,788

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,315,277			
1 経常収益	1,315,277			
(1) 医業収益	938,204			
入院収益	448,960			
外来収益	395,744			
診療収入計	844,704			
その他医業収益	93,500			
(うち他会計負担金)	46,416			
(2) 医業外収益	377,073			
(うち国・都道府県補助金)	9,179			
(うち他会計補助・負担金)	100,615			
(うち長期前受金戻入)	22,010			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,262,402			
2 経常費用	1,262,402			
(1) 医業費用	1,227,641			
職員給与費	766,517	81.7	54.5	66.5
材料費	87,757	9.4	24.1	18.1
(うち薬品費)	49,064	5.2	12.6	11.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	38,693	4.1	11.0	5.6
減価償却費	67,044	7.1	9.0	11.3
経費	304,542	32.5	23.3	30.5
(うち委託料)	129,735	13.8	10.8	11.7
研究研修費	1,601			
資産減耗費	180			
(2) 医業外費用	34,761			
(うち支払利息)	10,675	1.1	1.9	2.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	52,875			
純損益	52,875			
累積欠損金	885,420			
経常収支比率	104.2		98.7	97.7
医業収支比率	76.4		89.5	78.7
他会計繰入金対経常収益比率	11.2		12.0	21.6
他会計繰入金対医業収益比率	15.7		14.0	28.7
他会計繰入金対総収益比率	11.2		12.3	22.0
実質収益対経常費用比率	92.5		86.8	76.6

備考:  
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,180,990
1 固定資産	903,849
(1) 有形固定資産	883,719
(2) 無形固定資産	20,130
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	277,141
(1) 現金及び預金	85,205
(2) 未収金及び未収収益	191,613
(3) 貸倒引当金( )	1,061
(4) 貯蔵品	1,231
3 繰延資産	-
負債合計	655,497
1 固定負債	351,770
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	351,509
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	261
2 流動負債	115,301
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	39,284
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	49,252
(6) リース債務	289
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	21,052
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	188,426
(1) 長期前受金	445,039
(2) 長期前受金収益化累計額( )	256,613
資本合計	525,493
1 資本金	1,374,951
2 剰余金	-849,458
(1) 資本金剰余金	35,962
(2) 利益剰余金	-885,420
負債・資本合計	1,180,990
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	147,031	147,031
資本勘定繰入	28,603	28,603
計	175,634	175,634

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	94.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



<b>病院事業決算状況</b> (27年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	安芸太田町
	病院名	安芸太田病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	10,979 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨へ
診療科数	12	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	53	79.8	82.6	79.9
療養	52	79.5	82.3	77.8
結核	-	-	-	-
精神	44	69.2	49.2	33.6
感染症	-	-	-	-
計	149	76.5	69.5	57.5
平均在院日数(一般病床のみ)		22.4	21.7	19.3

設立団体の状況		
人口(人)	6,472	
決算規模(千円)	9,062,621	
標準財政規模(千円)	5,001,484	
財政力指数	0.21	
経常収支比率(%)	89.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.8
	将来負担比率(%)	81.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.9
修正医業収支金額(千円)	1,532,998

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,945,433			
1 経常収益	1,941,759			
(1) 医業収益	1,620,660			
入院収益	959,530			
外来収益	487,337			
診療収入計	1,446,867			
その他医業収益	173,793			
(うち他会計負担金)	87,662			
(2) 医業外収益	321,099			
(うち国・都道府県補助金)	209			
(うち他会計補助・負担金)	230,266			
(うち長期前受金戻入)	76,358			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,674			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,931,521			
2 経常費用	1,926,636			
(1) 医業費用	1,871,372			
職員給与費	1,140,110	70.3	54.5	58.9
材料費	222,201	13.7	24.1	18.0
(うち薬品費)	96,593	6.0	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	97,317	6.0	11.0	7.4
減価償却費	179,666	11.1	9.0	9.6
経費	320,646	19.8	23.3	30.8
(うち委託料)	125,468	7.7	10.8	12.1
研究研修費	4,380			
資産減耗費	4,369			
(2) 医業外費用	55,264			
(うち支払利息)	9,179	0.6	1.9	2.0
(3) 特別損失	4,885			
損益				
経常損益	15,123			
純損益	13,912			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.8		98.7	98.1
医業収支比率	86.6		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	16.4		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	19.6		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	16.3		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	84.3		86.8	83.3

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,771,982
1 固定資産	2,886,269
(1) 有形固定資産	2,812,435
(2) 無形固定資産	894
(3) 投資その他の資産	72,940
2 流動資産	885,713
(1) 現金及び預金	618,881
(2) 未収金及び未収収益	250,141
(3) 貸倒引当金( )	97
(4) 貯蔵品	14,745
3 繰延資産	-
負債合計	2,341,765
1 固定負債	825,614
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	825,614
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	266,221
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	112,289
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	67,716
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	82,083
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,249,930
(1) 長期前受金	1,354,277
(2) 長期前受金収益化累計額( )	104,347
資本合計	1,430,217
1 資本金	1,334,906
2 剰余金	95,311
(1) 資本金剰余金	43,995
(2) 利益剰余金	51,316
負債・資本合計	3,771,982
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	305,928	317,928
資本勘定繰入	65,084	70,504
計	371,012	388,432

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (27年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	北広島町
	病院名	北広島町豊平病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,529 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	4	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	44	41.3	63.4	76.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	44	41.3	63.4	76.1
平均在院日数(一般病床のみ)		18.8	21.3	21.7

設立団体の状況		
人口(人)	18,918	
決算規模(千円)	17,034,546	
標準財政規模(千円)	10,124,945	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	89.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.7
	将来負担比率(%)	88.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	55.6
修正医業収支金額(千円)	373,297

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	711,865			
1 経常収益	711,862			
(1) 医業収益	373,297			
入院収益	149,457			
外来収益	204,894			
診療収入計	354,351			
その他医業収益	18,946			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	338,565			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	269,130			
(うち長期前受金戻入)	67,215			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	702,421			
2 経常費用	701,658			
(1) 医業費用	671,648			
職員給与費	348,726	93.4	54.5	74.7
材料費	90,916	24.4	24.1	18.8
(うち薬品費)	72,650	19.5	12.6	11.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	18,266	4.9	11.0	6.4
減価償却費	53,918	14.4	9.0	12.5
経費	170,862	45.8	23.3	38.3
(うち委託料)	67,397	18.1	10.8	15.7
研究研修費	2,831			
資産減耗費	4,395			
(2) 医業外費用	30,010			
(うち支払利息)	15,721	4.2	1.9	1.9
(3) 特別損失	763			
損益				
経常損益	10,204			
純損益	9,444			
累積欠損金	166,962			
経常収支比率	101.5		98.7	96.6
医業収支比率	55.6		89.5	68.6
他会計繰入金対経常収益比率	37.8		12.0	30.8
他会計繰入金対医業収益比率	72.1		14.0	45.9
他会計繰入金対総収益比率	37.8		12.3	30.5
実質収益対経常費用比率	63.1		86.8	66.9

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,011,945
1 固定資産	916,248
(1) 有形固定資産	916,248
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	95,697
(1) 現金及び預金	65,577
(2) 未収金及び未収収益	30,233
(3) 貸倒引当金( )	113
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	956,507
1 固定負債	799,239
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	799,239
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	73,592
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,105
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	15,487
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	83,676
(1) 長期前受金	362,091
(2) 長期前受金収益化累計額( )	278,415
資本合計	55,438
1 資本金	82,467
2 剰余金	-27,029
(1) 資本金剰余金	139,933
(2) 利益剰余金	-166,962
負債・資本合計	1,011,945
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	225,955	269,130
資本勘定繰入	36,642	57,228
計	262,597	326,358

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	44.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (27年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	神石高原町
	病院名	神石高原町立病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	47	76.2	81.8	80.4
療養	48	61.4	82.7	78.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	95	68.7	82.2	79.2
平均在院日数(一般病床のみ)		28.0	29.3	30.1

設立団体の状況		
人口(人)	9,217	
決算規模(千円)	10,234,742	
標準財政規模(千円)	6,929,151	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	75.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	-

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	6,406 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救へ
診療科数	7	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.5
修正医業収支金額(千円)	1,269

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	264,283			
1 経常収益	264,283			
(1) 医業収益	16,888			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	16,888			
(うち他会計負担金)	15,619			
(2) 医業外収益	247,395			
(うち国・都道府県補助金)	1,165			
(うち他会計補助・負担金)	150,711			
(うち長期前受金戻入)	33,275			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	264,182			
2 経常費用	264,182			
(1) 医業費用	264,164			
職員給与費	-	-	54.5	66.5
材料費	-	-	24.1	18.1
(うち薬品費)	-	-	12.6	11.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	5.6
減価償却費	44,787	265.2	9.0	11.3
経費	218,836	1295.8	23.3	30.5
(うち委託料)	2,236	13.2	10.8	11.7
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	541	-	-	-
(2) 医業外費用	18	-	-	-
(うち支払利息)	18	0.1	1.9	2.4
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益				
経常損益	101			
純損益	101			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.7	97.7
医業収支比率	6.4		89.5	78.7
他会計繰入金対経常収益比率	62.9		12.0	21.6
他会計繰入金対医業収益比率	984.9		14.0	28.7
他会計繰入金対総収益比率	62.9		12.3	22.0
実質収益対経常費用比率	37.1		86.8	76.6

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,042,088
1 固定資産	971,046
(1) 有形固定資産	863,860
(2) 無形固定資産	703
(3) 投資その他の資産	106,483
2 流動資産	71,042
(1) 現金及び預金	38,685
(2) 未収金及び未収収益	32,357
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	805,890
1 固定負債	48,400
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	48,400
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	39,214
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	39,214
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	718,276
(1) 長期前受金	788,719
(2) 長期前受金収益化累計額( )	70,443
資本合計	236,198
1 資本金	-
2 剰余金	236,198
(1) 資本剰余金	217,478
(2) 利益剰余金	18,720
負債・資本合計	1,042,088
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	191,457	166,330
資本勘定繰入	28,920	57,840
計	220,377	224,170

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (27年度)	都道府県名	広島県
	市町村・組合名	世羅中央病院企業団
	病院名	公立世羅中央病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	16,207 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	18	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	135	96.7	98.6	96.4
療養	20	94.4	90.8	81.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	155	96.4	97.6	94.4
平均在院日数(一般病床のみ)		21.0	19.1	18.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.2
修正医業収支金額(千円)	2,632,961

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,148,334			
1 経常収益	3,142,634			
(1) 医業収益	2,797,818			
入院収益	1,746,076			
外来収益	701,562			
診療収入計	2,447,638			
その他医業収益	350,180			
(うち他会計負担金)	164,857			
(2) 医業外収益	344,816			
(うち国・都道府県補助金)	1,120			
(うち他会計補助・負担金)	162,924			
(うち長期前受金戻入)	170,537			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,700			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,135,335			
2 経常費用	3,028,676			
(1) 医業費用	2,985,709			
職員給与費	1,369,018	48.9	54.5	58.9
材料費	620,693	22.2	24.1	18.0
(うち薬品費)	398,423	14.2	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	192,400	6.9	11.0	7.4
減価償却費	275,176	9.8	9.0	9.6
経費	712,811	25.5	23.3	30.8
(うち委託料)	189,271	6.8	10.8	12.1
研究研修費	5,054			
資産減耗費	2,957			
(2) 医業外費用	42,967			
(うち支払利息)	23,379	0.8	1.9	2.0
(3) 特別損失	106,659			
損益				
経常損益	113,958			
純損益	12,999			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.8		98.7	98.1
医業収支比率	93.7		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	10.4		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	11.7		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	10.4		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	92.9		86.8	83.3

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,441,591
1 固定資産	3,518,228
(1) 有形固定資産	3,497,936
(2) 無形固定資産	2,142
(3) 投資その他の資産	18,150
2 流動資産	1,923,363
(1) 現金及び預金	1,503,411
(2) 未収金及び未収収益	398,090
(3) 貸倒引当金( )	191
(4) 貯蔵品	20,054
3 繰延資産	-
負債合計	2,752,457
1 固定負債	1,356,772
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,152,485
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	172,757
(7) リース債務	31,530
2 流動負債	412,420
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	95,511
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	88,071
(6) リース債務	8,398
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	210,224
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	983,265
(1) 長期前受金	1,791,158
(2) 長期前受金収益化累計額( )	807,893
資本合計	2,689,134
1 資本金	2,477,048
2 剰余金	212,086
(1) 資本金剰余金	56,303
(2) 利益剰余金	155,783
負債・資本合計	5,441,591
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	305,493	327,781
資本勘定繰入	88,715	88,715
計	394,208	416,496

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。